

小津中学校3年 各教科 学習のポイント

	国語	社会	数学	理科
付けた い力	I 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている II 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めている III 言葉を通し積極的に人と関わり、思いや考えを深め、その価値を認識し、感覚豊かに、言葉を適切に使うとしている	I 国土、歴史、政治、経済、国際関係等を理解し、調査や資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめている II 社会的事象を多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向け選択・判断・説明したり、それらを基に議論している III 国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている	I 数量や図形などの基礎概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化し、数学的に解釈・表現・処理している II 論理的に考察し、数量や図形を統合的・発展的に考察し、数学的表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している III 数学の楽しさやよさを実感し粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとし、過程を振り返り改善しようとしている	I 自然の事物・現象について概念・原理・法則を理解し、探究に必要な観察・実験・記録などの操作や技能を身に付けている II 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、結果を分析・解釈・表現し、科学的に探究している III 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている
各教科より	○授業のポイント ①表現技法・語句・文法・文章の構成など文章を読むための知識を覚える。（これが基礎！） ②文章を読み、自分の考えを広げ、情景を想像できるように。 ③自分の意見や知っていることを相手にわかりやすく説明できるように。（話す・書く） ④自分の感情・想い・感動したことを言葉にして相手に想像させる、話を聞いて創造する。（話す・聞く） ※中心となる活動は、プレゼン・ディスカッション（討論）詩・随筆・意見文、鑑賞文を創るなどです。 ○家庭学習のポイント ①（予習）教科書の学習内容を前日までに必ず読んでおく。 →わからない言葉や漢字を自分で辞書で調べる。 本文の内容を説明できるか要約をノートに書く。 ②（予習）文法や語句の授業は予習課題を出題。 →授業までに必ず取り組む（文法ワークを活用しよう）。 ※自分が「わからないところ」をわかっておく。 ③分からない・あいまい→必ず復習し、できるように。 ④新出漢字は必ず自分で練習（漢字ワークを活用しよう）。 ⑤タブレットドリルを毎日コツコツ取り組む。 ⑥先生からの復習課題は超重要（みんなが苦手な所です）！ →できなかったところは、OZUチャレでがんばろう！	○授業のポイント ①物事を考える上で必要となる基本的な知識を習得する。 ②社会（世の中）のことを深く考え、自分や社会の未来について議論し発表する。 ③「問い」と「答え」（自分の主張だけでなく、なぜそう考えたのかという理由）を考えることを大事にし、言葉や文字でしっかりと表現する。 ④わからない、答が納得いかないような問題が出てきたときは、遠慮なく社会の先生（山中・河合）に質問をしてください。 ○家庭学習のポイント ①前日までに教科書の学習内容を読んでおこう。授業では知識の習得とともに、知識の活用場面も多くあるので、予習も大切にしよう。 ②知識を定着させられるように、タブレットドリルなどを使って復習問題にも取り組もう。繰り返し行うことで、知識は定着していくので、コツコツと頑張ろう。 ③入試に向けて、1年生2年生で習った内容についても丁寧に復習しよう。できるだけ早く、自分の勉強スタイルを見つけ出し、家庭でも学習する習慣を身につけましょう。	○授業のポイント ①予習をし、自分はどこまでわかり、何がわからないのかを認知しておく。（Ⅲ） ②予習を活かしてどんな解き方ができそうか見通す。（Ⅱ） ③一人で考え、解いてみる。（Ⅰ） ④自分の意見を持ち、対話を重ねて考えを共有する。（わからなくても、自分がどこからわからないのかを把握し、相談する。）（Ⅱ） ⑤発表をすることで表現力を高める。（Ⅱ） ⑥他人の発表から自分の考えを広げる。（Ⅱ） ⑦間違えても意見や計算の過程を全て消さず、どこで間違えたのかをわかるように残しておく。（Ⅲ） ⑧改めて問題がわかったか練習してみる。（Ⅲ） ⑨その日学んだことをふり返り、なるほどシートにまとめる。（Ⅱ・Ⅲ） ○家庭学習のポイント ①OKURAノートは、○付けをし、×の所は最低限計算式や考え方も書くこと。 ②解説を見ても分からない問題は期限内に質問にくること。 ③タブレットドリルなどで粘り強く分かるまで繰り返し取り組み、OZUチャレで頑張る。	○授業のポイント ①自然事象への関心をもち、自ら課題を解決しようとする。 ②自分の考えを大切にしながら、周りの人の見方・考え方を受け入れる柔軟な態度をもつ。 ③実験等の作業では、周りの人と協力して課題解決に努める。 ④粘り強く課題に取り組む。 ○家庭学習のポイント ①授業をよく聞き、分からないところそのままにしない。 →授業中、授業後に質問するなど、必ず確認する。 ②学習の積み重ねを意識し、日々の復習を大切にする。 →基礎基本となる語句や知識は、家庭学習の中で定着させる。 ③ワークやタブレットドリルをする時には、解けなかった問題を必ずやり直す。 →丸つけだけに終わらず、解説を読み、次に同じ問題が出題されたときに、解ける状態にする。 →薄いワークでもいいのですべての問題を解けるところまでやり切るようにする。
音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語
I 曲想と音楽の構造・背景や音楽の多様性について理解し、表現に必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している II 音楽の要素やその関連を知覚・感受し、関わりを考え、思いや意図をもって表現し、音楽を評価し味わって聴いている III 音・音楽・音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむ主体的・協働的に表現及び鑑賞に取り組もうとしている	I 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫し、創造的に表している II 造形的なよさや美しさ、表現の意図・工夫・働きを考え、主題を生み、豊かに発想・構想し、美術に対する見方や感じ方を深めている III 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている	I 各種の運動の特性に応じた技能等及び、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている II 自己や仲間の運動・健康の課題を発見し、合理的な解決に向け思考し判断するとともに、それらを他者に伝えている III 生涯にわたり運動の楽しさや喜びを味わえるよう、各種の運動の合理的な実践に最善を尽くし、健康・安全の学習に自主的に取り組もうとしている	I 生活と技術について理解するとともに、それらの技能を身に付けている II 生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想・評価・改善し、表現するなどして課題を解決している III よりよい生活や持続可能な社会の構築に向け、課題解決に主体的に取り組み、振り返って改善し、工夫・創造・実践しようとしている	I 外国語の音声や語彙、表現、文法、働きを理解し、聞く、読む、話す、書くの実際のコミュニケーションで活用している II 目的や場面、状況に応じ、外国語で日常的・社会的話題について、簡単な情報や考えなどを理解・活用し、表現したり伝え合ったりしている III 外国語の文化的背景への理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し、主体的に外国語によるコミュニケーションを図ろうとしている
○授業のポイント ①曲の「本質」を表現できるようにしましょう。 ②ギターの演奏が上達するよう、しっかりと練習しましょう。 ③単元テスト・小テストなども頑張りました。	○授業のポイント ①鑑賞した作品の特徴や技法をしっかりと把握すること。 ②作品を鑑賞し自分の考えや思いをわかりやすく文章でまとめる。 ③鑑賞した作品の技法や作者の思いを参考に、作品制作を行うこと。 ④作品制作中は集中して取り組み、最後まで手を抜かず細部にこだわって完成させる。 ⑤提出日までに間に合うよう計画的に考え、制作する。 ○家庭学習のポイント ①単元テスト前には、しっかりと鑑賞した内容を振り返ること。 ②制作途中の作品を持ち帰るときは、提出日までに間に合うよう、ていねいに制作すること。	○授業のポイント ①運動や健康に興味や関心を持って積極的に取り組もう。 ②運動の行い方など自分の課題を見つけ、見通しを持って、課題に取り組もう。 ③対話活動を通して自分の考えを広げ、学習を深めよう。 ④ルールやマナーを守り、安全に気を付けて取り組もう。 ○家庭学習のポイント ①基本的生活習慣（食事、運動、休養・睡眠）の調和のとれた生活を送ろう。 ②学習したことを実生活に生かそう。 ③運動や健康に関する情報に興味や関心を持とう。	○授業のポイント ①ペアワークや班活動を通して意見交換を行い、自分の考えを広げましょう。 ②毎回の授業で、めあてを確認し、見通しを持って、課題に取り組みましょう。 ③普段の生活の中で、学習した力を発揮できるようにする。 ④授業の中で自ら課題を見つけ、課題の解決方法を考えよう。 ⑤授業をふり返り、知識を身につけ、活用しましょう。 ○家庭学習のポイント ①学んだことを振り返りながら、生活や次の学びに生かす。 ②学習したことを日常生活のなかで実践してみよう。 ③授業を受けて気になったこと、より深く学びたいと思ったことを調べよう。 ④衣食住に興味を持ち、日々の生活を送りましょう。	○授業のポイント ①英語を聞き取り、話そうとしよう。 ②声に出して、単語や本文を読む練習をしよう。 ③ペアワーク・グループワークなどの活動に積極的に取り組もう。 ④教科書や相手が話していることを参考にしながら、自分のことを積極的に話そう。 ⑤自分の表現をより良いものにするために工夫をしよう。 ○家庭学習のポイント ①予習・復習をして、単語や文を読める、書けるようになろう。 ②単語や文は何度も書いて覚えよう。 ③問題演習を計画的に進めよう。 ④興味を持ったことを、インターネットなどで調べて、他国の文化などの知識を深めよう。 テレビ・映画・ラジオなども有効活用しよう。
自分で学ぶ力を！～家庭学習の心得～ 一、自分にピッタリの勉強を見つけられるように。 （まずは友達のマねをしてみよう） 一、勉強中はスマホをしまい、通知音をオフに！ 一、しんどい日は5分でもいいので、机に向かおう。（毎日学習） 一、できなかったところからが、本当の勉強の始まりです！				